

平成25年度中央区臨海部粉じん実態調査計画（案）

資料2

1 目 的

中央区臨海部地域において、住民から工場からの粉じんの飛来に関する苦情が集中して寄せられている現状を踏まえ、臨海部を中心に粉じんの採取・分析等を行い、その実態を調査する。

2 調査内容

2. 1 一般環境中の粉じん実態調査

調査期間としては、年4回程度、1回につき1か月程度を予定。中央区臨海部の一般環境中の降下ばいじんを採取し、成分分析等を行い、粉じんの飛散実態を把握する。

採取方法	採取期間	地点 No.	調査地点	分析項目 (分析方法)
ダストジャー (金属用と炭素用 の2種類のサンプ ラーで採取)	4 回程度 (1 季 1 か月)	1	中央 4 号排水機場	○粉じん量 (重量法) 総量 ・ 水溶性 ・ 不溶性
		2	県営中央 3 号上屋	
		3	中央区問屋町マンション 1F	
		4	中央区問屋町マンション 5F	
		5	中央区問屋町マンション 10F	
		6	中央区問屋町マンション 15F	
		7	中央区本町 (本町小学校)	○金属成分 (Fe, Ca, Mn, Cr, La, Ce) (ICP-MS 法)
		8	若葉区高品町 (貝塚浄化施設)	
		9	蘇我排水機場	
		10	中央区都町 (都公園)	○炭素成分 (サーマルオプティカル リフレクタンス法)
		11	中央区葛城 (葛城公民館)	
		12	蘇我排水処理施設	
		13	新宿保育所又は新宿小学校	
				H25 年度降下ばいじん測定地点 11 地点

2. 2 苦情者宅の粉じん調査及び状況の記録

(1) 苦情者宅等で降下ばいじんを採取し、形態・成分を電子顕微鏡を用いて分析する。また、代表的な試料について、2. 1の分析を行う。

採取方法	採取期間	調査地点	分析項目 (分析方法)
降下ばいじんを 広口桶で採取	1~3日ごと 10回程度	苦情者宅 (5件程度)	○電子顕微鏡による粒子の形態観察 ○代表的な試料について、成分分析

(2) 粉じん被害が生じた際、被害者に関連事項を記録してもらう。

記録内容

期間	被害状況	煙、におい、船	風向風速
(例)			(市記載)
○月○日○時~ ○月○日○時	洗濯物に黒い粉じん	焦げたような臭い	

